

あなたもお読みください  
 真実つたえ希望はこぼ  
 しんぶん 赤旗  
 日刊 1カ月 3,497円  
 日曜版1カ月 823円

# 手良民報

生活相談はお気軽に  
 電話 78-0943(高橋)  
 08051428896(大場美広)  
 毎月赤旗読者に配達  
 民報のみは月100円)  
 発行 日本共産党・手良支部

## 初めての夏祭り

### 手良保育園

8月8日の夕方、手良保育園の夏祭りがありました。3年ほど前から計画はあったようですが、社会福祉協議会手良支部などの協力を得ての初めての試みとなりました。

最初に保護者会長と園長が開会宣言を行い、みんなで「夏の歌」を歌って始まりました。夜なので子どもたちには「絶対に走らないこと」と注意がありました。



保育園夏祭り

「遊びコーナー」はヨーヨー釣り・ピカピカ金魚すくい・輪投げ・じゃんけん遊び、「食べ物コーナー」にはかき氷・わたあめ・ポップコーンが用意されました。女の子の可愛いゆかた姿もありました。

## よひの通信 ⑥

### うたごえ運動

今までと話が異なりますが、「うたごえ運動」のことを書きます。

先日8月10日(日)、私の所属している「うたごえサークルさざむし」主催「第5回平和音楽会inいなっせ」をひらきました。

会場において頂いた方をはじめ音楽会開催にご協力いただいた方々に感謝を述べ、お礼申し上げます。

伊藤聡(あきら)さんと飯田にお住まいのモンゴル出身の女性歌手、佐々木ハスゲルさん、二人のブラスバンドに「出演頂くことができた」。

一段と気迫あふれる演奏をお届けできたのではないかと考えています。本紙でこの音楽会開催について事前に知らせたこと、今年と同じ伊那市生涯学習センター「いなっせ」の会場使用予約を取りました。

が、八月九日(日)の長崎原爆忌に「第6回平和音楽会」を開催できるよう、今年と同じ伊那市生涯学習センター「いなっせ」の会場使用予約を取りました。

皆さんも是非「うたごえサークルさざむし」に声をかけて下さい。

「うたごえ運動」も音楽活動を通してこの一翼を担えればと思ひ、またサークルで正式に決定してないのです。

手良地区の成人式が他地区より一日早い8月14日に手良公民館で行われ、式には12名、祝う集いには14名が出席しました。

自己紹介では一人ひとりの抱負や夢を元気に語りました。

知事選の結果について 日本共産党手良支部

「手良保育園が夏祭りを行った。地域のみなさん、とやるのは園児以来初めてのようである。保育園単独でやるのは何かと大変であるので手良の社協の力も借りたようである。

歴史を見直し考える

我が国の縄文時代の後期、東アジア世界はどうだったのでしょうか。その頃(紀元前7〜3世紀頃)の中国は、春秋戦国時代と呼ばれてい

ますが、戦乱の時代です。古い血縁を中心結ばれてきた社会(一族の長老が権力をにぎっていた)が崩壊し、様々な能力を持つ人間が社会のリーダーとなり、支配者として君臨するようになり、有名な孔子とか孟子のような思想家が輩出したのもそういう時代でした。

それを促したのは、鉄製の農具や武器、そして牛に大型の鋤をひかせる農法の発達でした。恐らくこの農法の出現は、戦後の日本のトラクターや各種農業機械以上に「革命的」なものだったと想像されます。

やがてそうした中国の鉄器や農業技術は朝鮮半島に波及します。

生活雑記 125

見えない霊を迎えて

小松利江

六道地蔵尊のお祭りが近くなる、いよいよ今年もご先祖様が帰ってくるんだなあと、その日を心待ちしながら、目には見えない夫の面影と対面できる喜びがわいてくる。

もう今年で三回目のお盆だ。長いような、あつと言つ間のような、不思議な気持ちに感情は心を逆撫でして行く。後に残された者の歳月は本当に淋しく半身をもぎ取られたような思いで孤独という一本道を一生懸

縄文時代の末期(紀元前4〜3世紀頃)からは、船を扱ったのが巧みで、稲作・畑作・養蚕・牛馬の飼育・鶏飼いや鷹飼いの技術を持つ、金属器の技術を併せ持つ朝鮮の人々が、北九州・瀬戸内海沿岸、近畿地方に男女を含めて集団的に続々とやってくるようになりました。

それは、最近の研究によれば、かつて帰化人(この言い方は適切ではなく、渡来人と改められた)と言われた一握りの人々等ではなく、7世紀までの約千年の間に最大百二十万人以上、少なくとも見積もっても数十万人の人々が日本列島に渡ってきたとされます。一部は中国からやってきた人々もいたと類推されます。

手良の地にやってきたと言いつた渡来系の手良公(てらのきみ)については「手良誌」を参照してください。

命歩いている姿が見えるだろう。此の道の終わつた所で貴方がここに笑つて迎えてくれるだろうと信じている。今年も早朝、三時に起きて六道の森へ一人で行くことと決心したので頑張つて実行したが、真つ暗い森の中は本当に神秘的で背中を冷たい風が通り抜けてゆくようだった。祖母が亡くなってから毎年、必ず一人でお迎えに行つた此の森は三十年余も続いていたのに、いよいよ夫を迎えに行く自分の責任が肩に重くのしかかつてきた。帰り道、返事のない霊をお札と松葉に乗せて走りながら、一生懸命話しかけて淋しさを紛らせ涙で曇るウィンドガラスをワイパーで拭

4回目の「つらコン」

手良地区活性化促進会議企画委員会主催の4回目の「つらコン」が、いな

かで開くスイーツ合コンと銘打って7月26日の午後野口公民館で行われ、男性16名、女性8名が参加しました。最初に活性化促進会議より歓迎のあいさつがあり、レクリエーションとして数人で交互に打つ風船ゲームを15分位行

で一人ずつ自己紹介を全員行いました。その後ケーキと一緒に作りました。最後は実行委員長より「スタツプ一同今日まで頑張つて準備してくれて、この出合いを大切に、とあけさつがありまして、中々数組はカトル組ができたのではないかと聞いています。

中坪納涼祭は今年もまた

8月15日の夕方から中坪公民館の庭で行われました。中坪公民館運営委員の主催で毎年行われてい

ます。子どもからお年寄りまで庭いっぱい賑わいました。桜青葉の樹の下にわたあめ、スイーパーボール、ヨーヨー、焼き鳥、焼きそば、ビール、ジュースなど、どの屋台と夜店が出た。蛇の列となりまして、子どもたちも小遣いを買ってわたくしをもちました。

今年もまた納涼祭で賑わう 中坪公民館



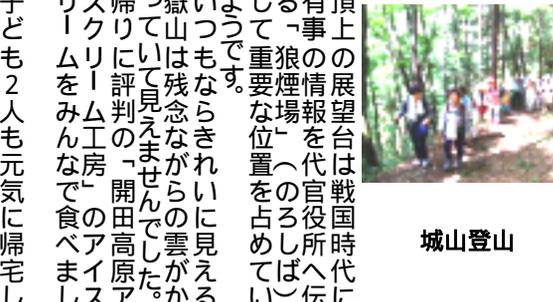
中坪納涼祭

開田高原の城山へ 里山に登る会

「手良里山に登る会」は7月26日に車7台に22名(子ども2名)が分乗して木曾の開田高原の城山(しろやま・標高1422m)に登りました。手良からは遠距離でしたが、ひなびた開田高原を通り城山へは木の段々で整備された山道を登りました。

道沿いにはオシダ、ヤマアジサイ、ウツボグサなどが目に付き、暑い日でしたが林の中の道でしたので涼しく快適な途中に昭和58年の台風による災害の復興記念の大きな碑がありました。

城山登山



城山登山

中坪公民館で絵手紙教室やっています

連絡先 高橋 7810943



春日治子

第6回「おおにし」夏まつりは7月26日の夕方、近所のみなさん、関係者など60人以上の参加者で賑わいました。

焼き鳥、おにぎり、焼きそば、ジュース、アイスなどが用意され、子どもたちも楽しめました。管理者の清水美喜子さんは「地域のみなさんには、日頃お世話になっていて、定着してきてありがたいです」と語っていました。

おおにし夏祭り



おおにし夏祭り

八ツ手高齢者クラブと小学生との交流会

毎年、恒例の八ツ手地区の高齢者クラブと小学生との交流会を8月8日に公民館で行いました。今年はカレーを高齢者がつくり、西瓜、お菓子、アイスクリームなどで子どもたちと賑やかに昼食会ができました。

その後、子ども達から自己紹介があり、屋号を聞かされた。「あの家の子どもかい」と始めて見ると子どもも大勢いて楽しい一時が過ぎ余興が始まりました。

子どもたちは校歌や一年生も歌える歌を全員で合唱、「素晴らしいねえ」「可愛いねえ」と、高齢者にとっては本心に心が和む一日でした。最後には、マジック協会から会長の平沢光子さんによる不思議なマジックに子どもたちも大喜びして一日の行事は無事に終わりました。

(小)

2回目の縮刷版発行

中坪の歩み研究委員会「中坪の歩み研究委員会」は毎月、月刊紙「中坪の歩み」を発行しています。



中坪の歩み研究委員会

縮刷版を発行し中坪全戸に配布しました。今年で2回目となります。希望者には1部700円で頒布しています。

元気づくり支援金内 活性化促進会議

平成26年度県の「地域発「元気づくり支援金」で手良地区活性化促進会議が37万1千円内定に

なりました。手良地区の活性化を図り豊かを目指すため、定住移住事業を実施するとい

うことで「つらコン」実施にあたっての広告宣伝費・チラシ折込費と秋に予定しているハイキングのマップ作成費などです。

折に触れ思い出すこと多しこの世にあれば父は百歳肩までの髪を揺りして幼な孫の女の子の面影ちらつと見せくる。給手紙の仲間等と描く「手良の秋」文化祭への大作に挑む。耐へがたき事業の悩み深くして笑顔の裏の苦しみ。沙羅の花ひっそりと咲き夏は来ぬ時代の動きに穏やかならず。

短歌 時代の流れ

高橋きんよ

身近な出来事を、早く皆さんにお伝えしたいと思ひます。何かありましたら左記まで連絡をお願いします。

七八〇九四三 高橋